

シリーズ総合型地域スポーツクラブ①
東部スポーツクラブ きずな



総合型地域スポーツクラブとは、健康のための運動や趣味、仲間づくりなどを通じた地域コミュニティ形成を目的とした「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツを楽しむことができる、地域に根ざしたスポーツクラブです。現在、市内には9つのクラブが活動を行っています。今回は「東部スポーツクラブ きずな」を紹介します。

東部スポーツクラブ きずな

ことし11月に設立4年目を迎えるクラブです。東部地区で地域の会員の皆さんが公民館、学校や長崎国際大学を中心にスポーツ・文化活動を行っています。

講座 ビラティス、バレトン、ヨガ、パドミントン、ちびっこダンス、太極拳など

場所 広田地区公民館、東部スポーツ広場など

会費 年会費2,000円～、月会費2,000円

無料体験もありますので、ぜひ参加してください。

おすすめの講座

【チャレンジスポーツ】

日時 12月12日④までの毎週土曜19時～21時

場所 長崎国際大学

対象 小・中学生とその家族

【バレーボール集中講座】

トップアスリート指導による集中講座です。

日時 8月6日⑥～8日④ ※1日3時間の予定。

場所 長崎国際大学

対象 小・中学生

※参加料はどちらも1日100円(保険料)です。

東部スポーツクラブ きずな

〒859-3225 浦川内町無番地

東部スポーツ体育館内 電話 38-5390

Eメール tobusportskizuna@biscuit.ocn.ne.jp

☎スポーツ振興課 ☎24-1111

シリーズ私の3しい⑨
「佐世保の美しい」(九十九島の夕日編)



市民一人一人に、佐世保の3つの「しい」(美しい、楽しい、おいしい)を持ってもらい、PRしていただく「させほ観光3しいGO!作戦」。今回は「佐世保の美しい」で意見が多かった「九十九島の夕日」について紹介します。

- パールシーリゾートの遊覧船サンセットクルーズから見た夕日。世界中をいろいろ旅しましたが、やはりこの景色にかなう場所はないです。(67歳・女性)
- 九十九島の夕日は本当に最高です。毎日違う夕日の輝きを見ているととても癒やされ、優しい気持ちになれます。(32歳・女性)
- 九十九島の夕日が美しい。展望台からの絶景に感動します。(13歳・女性)



☎観光物産振興局 ☎24-1111

シリーズ九十九島⑪
九十九島の歴史

明治時代に海軍の鎮守府ができるまで佐世保は小さな村だったこともあり、その歴史は浅いと考えられがちですが、市内には古くからの人々の営みを伝える遺構などが多く残されており、佐世保の歴史をひも解くきっかけを与えてくれます。そして、九十九島にも古い言い伝えが残っています。

まずは島の名前の由来として残っているものを紹介します。神代の時代に神功皇后が朝鮮半島での戦から凱旋された際に、要らなくなって捨てた鬘かづらが流れ着いたという「桂島」や、嵐のときに海に投げ出された木枕が流れ着いたと言われる「枕島」、殿様が鷹狩りに来たときに、狩りに飽きて釣りをしようと邪魔になる木の枝を切ろうとして、斧を落としたという「斧落とし島」。このほか海賊にまつわる言い伝えなども残っています。

江戸時代の1812年12月末には、伊能忠敬いのうただなかが相浦に到着して正月を過ごしました。ここで古希(70歳)を迎えた忠敬は「七十に 近き春にぞ あひの浦 九十九島をいきの松原」と歌に詠みました。翌年1月4日から19日にかけて、俵ヶ浦半島から高島までの間の九十九島を測量したという記録が残っていて、冬の寒い中を小舟で島々を回って測量した様子が想像できます。



明治時代に佐世保鎮守府が設置されると、九十九島の辺りにもぎやかになりました。上小高島には当時、海軍と取り引きをしていた商人の別荘があり、海軍の幹部や歌人、皇室の方なども出入りしていたそうです。袋ヶ浦と言われる入江を閉めきって、釣った魚は料理として出していました。戦後は米軍の管理下にあったようですが、その後は廃墟となっています。敷地内には碑なども残り、その面影を今に伝えています。

☎観光物産振興局 ☎24-1111

シリーズ海風の国便り①
NPO法人 黒島観光協会を紹介します



明治時代の建物でレンガ造りが大変美しい黒島天主堂。国の重要文化財にも指定されています

平成25年4月1日、本市と小値賀町は「海風の国」として、当時全国6カ所のうちの1つとして新観光圏の認定を受けました。「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり、日本の顔となるブランド観光地づくりを目指して3年目を迎えています。

この取り組みを通じて、現在、市内の各地で地域住民を中心とした皆さんが動き出しています。今回はその中の1つで、平成28年に世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産の1つ、黒島天主堂がある黒島地域での取り組みを紹介します。

黒島地域では、世界遺産登録による観光を生かした地域活性化を大きな柱として、ことし1月に「NPO法人黒島観光協会」を設立しました。現在、黒島を訪れる観光客を受け入れるため、さまざまな体験プログラムの企画やガイド人材の育成、お土産品の開発など、島の人たちが一体となって準備を進めています。

また、観光の拠点となる施設も国や市の支援を受けながら、自分たちの手で建設を計画するなど、「心のこもったおもてなし」を実現するため日夜がんばっています。

「海風の国」観光圏事業は本市や佐世保観光コンベンション協会が協力して支援に当たっています。黒島での取り組みは市内全地域にとってモデルとなる事業ですので、皆さんも注目してみてください。



勉強会を行う黒島観光協会の皆さん

☎佐世保観光コンベンション協会 ☎23-6843